



モノクロ漫画

総

100

ページ

RPG

の世界から

出るにはハーレム

つくらないといけないらしい

これまでの人生で

女性経験
どころか

タカシ様…

まともに女性と

はあ…

はあ…

付き合ったことすらない僕が

ずっと

待ってたんですからね♡

どうしてこんな状況に…

苦節、一年…
総プレイ時間千時間超

やったぞおお！

ついに
ラストダンジョン

クリア！

僕の名前は
岡山たかし

ゲーム好きの
普通の学生だ

ついに…
ついに！

キャラクターと
旅をしながら

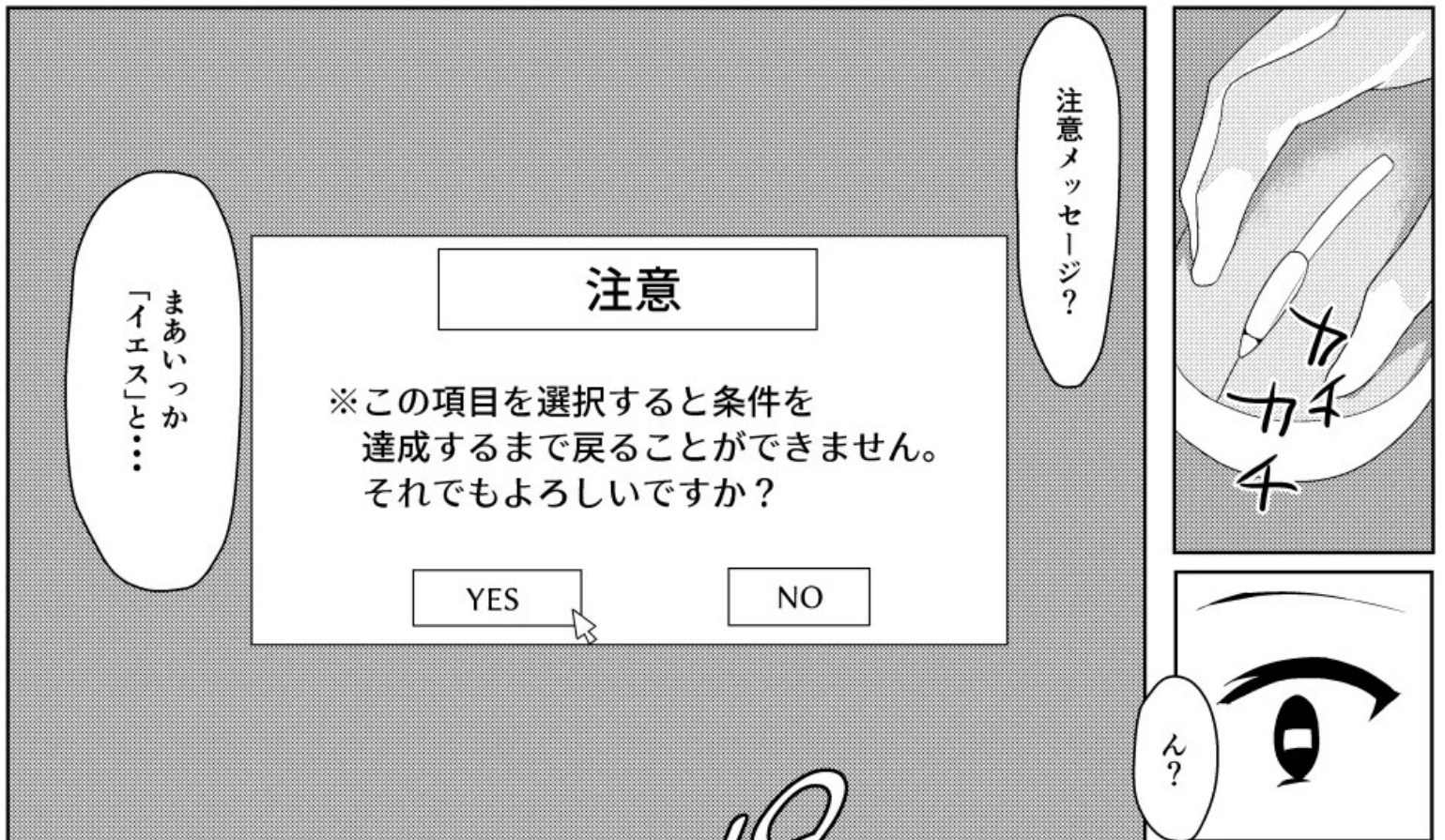
各地のダンジョンに
挑み
ボスを倒すという
シンプルなゲーム性

ゲームシヨップの
ワゴンで見つけた
このゲーム

Overkill
Dungeon

最初はメーカーもタイトルも
聞いたことなかったから
不安だったけど

キャラクターが魅力的だったり
ストーリーが凝ってたり
となかなかの良ゲーだった





そして豊満!



いかな
いかな
いまは
式典に
集中せねば



間違いない...

ここはゲームの中...

そしてこの娘はレイナ

神官の娘で、主人公の旅の
サポートを務めていた

僕にとってはこのゲームで
一番お気に入りのヒロインだ

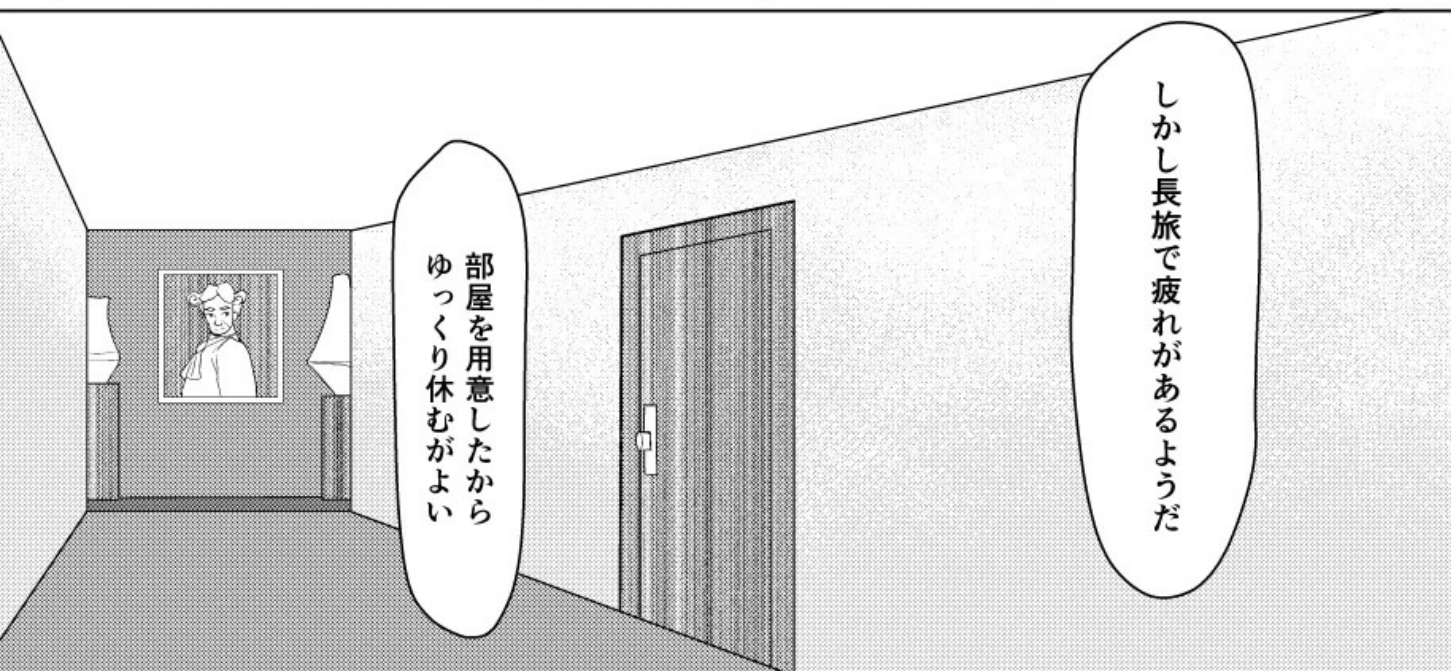


勇者よ

よくぞ魔王を倒し
無事に生きて帰った!

スッ

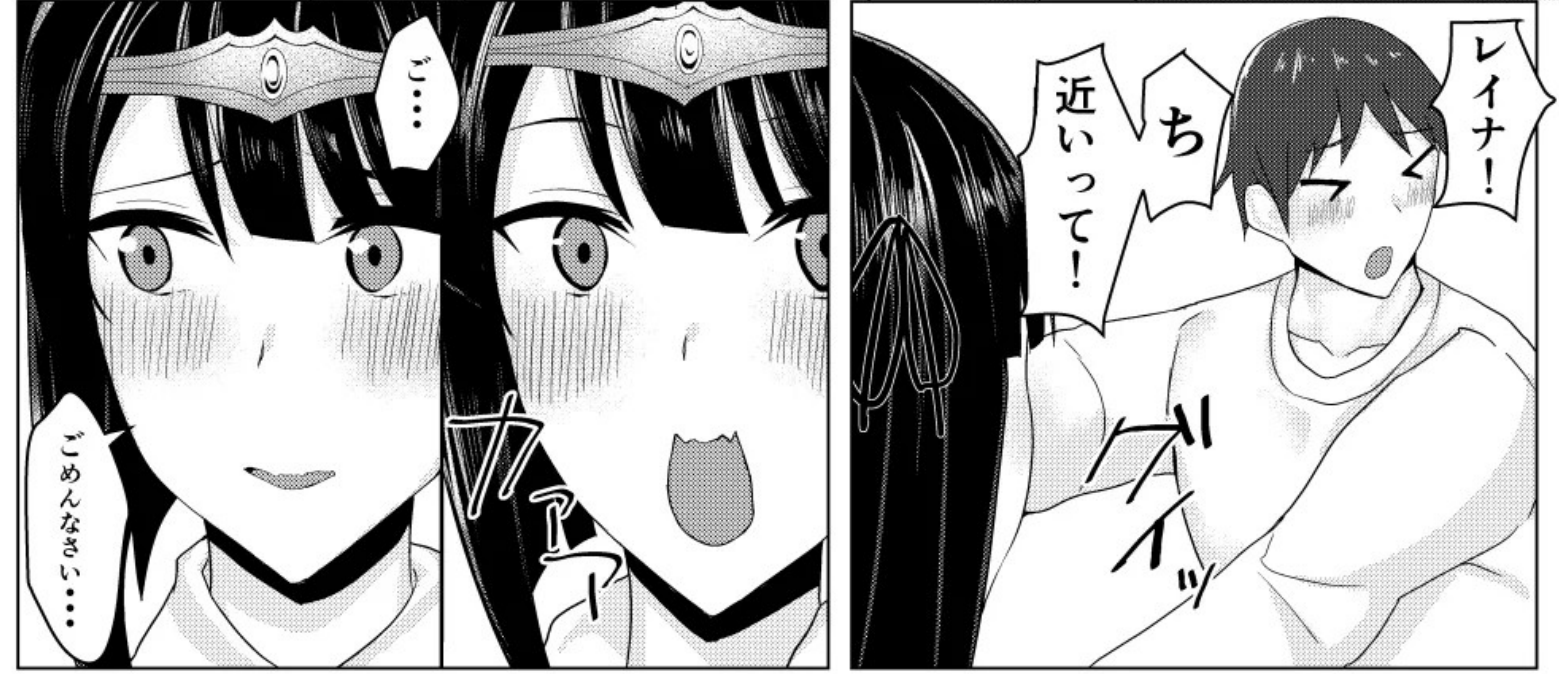
褒美は望むものを獲らせよう!



しかし長旅で疲れがあるようだ

部屋を用意したから
ゆっくり休むがよい







よろしければ…
私がお手伝いいたしましょうか

ほんと!?

はい…

私のせいという
ところもありますので

やった!

これはチャンスだ

女の子と
キス…

はじめてする…

わ…すごい
これがキス…

はあ…
はあ…

やわらかくて

はあ…
はあ…

めっちゃいいにおいする

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ





きれいな顔を
崩しながら

女の子がっ

こんなかわいい

僕に奉仕
してくれてるっ！



ぐくぐく

ジュ

出るっ

もう...
ためたっ



ふふっ

たくさん出ましたね♡

口の中...っ

僕なんかの精液を
嫌げじゃなく...





うあ…これ幸せすぎる…

女の子の身体ってどうして
くっついてるだけでこんなにも

やわらかくて

あったかくて

ヌチゅー

ヌチゅー

ヌチゅー

ヌチゅー…

甘くて

いい匂い…

粘膜を
擦り合わせてる
だけなのに

これ本当に現実か？
ってくらい

気持ちいい…

タカシ様の…
中でびくびくって
してます▼

もういきそう
なんですわ…？

イイですよ…▼

中に全部
出してください▼

ゴッ

急にっ

激しすぎますっ

タカシ様つつつ▼

ひぐっ

パッパッパッ



好きだった!!

私もっ

お慕いしていますっ
タカシさまっ

パン

グ



ほんとに
僕なんかで
いいの？

とんでも
ございません

はあ…

はあ…

はあ…

はあ…

はあ…



よろしく
お願いします

こちらこそ
ふつつかものですが



それからというもの

こうして
一人目のヒロイン
レイナを攻略した僕は

条件の達成に
対して全くの
後ろ向きになって
しまっていた

というのも

レイナとは
四六時中
いるわけで

僕が少しでも
劣情を催すと

すぐにそれを察知し、

空き部屋に誘うのである



お互い身体中
汗だくでべたべたで

気持ち悪い
はずなのに、
そんなの気に
ならないほど

セックスに夢中になってる

女の子

ぬちゅっ

ぬちゅっ

おおいかぶされながら

中出しするっ



レイナとの肉欲に
おぼれた性活を
送る僕にも

このようにして

決してほかの女の子が
どういう感じなのか
気になったとか

そんな
浮気心からではない
……多分

ヒロインたちの
攻略という
目的があるわけで

陛下、魔王討伐の褒賞
申し上げてもよろしいでしょうか

とにかく
二人目のヒロイン攻略に
のりだした

ああ
私に可能な
限り叶えよう

姫様を僕の妻にください！

彼女が二人目のヒロイン

メアリ姫
この国のお姫様だ

王様、いかがでしょう？

勇者ほどの男が相手なら
私はかまわないが…

こういうのは当人の
気持ちが一番だろう

メアリ姫も勇者への
好感度は高かったはずだ

勇者様の願いが
私との…

そうか！

めでたいことだ！今夜は宴だ！

命の恩人である
勇者様ですもの

お話お受けします

やった！



まだ夢のようですわ

勇者様が私を妻にと
お求めになってくださるなんて

そんな



パーティすごかったね

ええ...



お恥ずかしい話ですが

男性とあまり
お話しすること
がなくて...

お城の外のことも
あまり知らないんです
つまり、世間知らずなんです



姫様くらい美人なら
男はほっとかないだろ

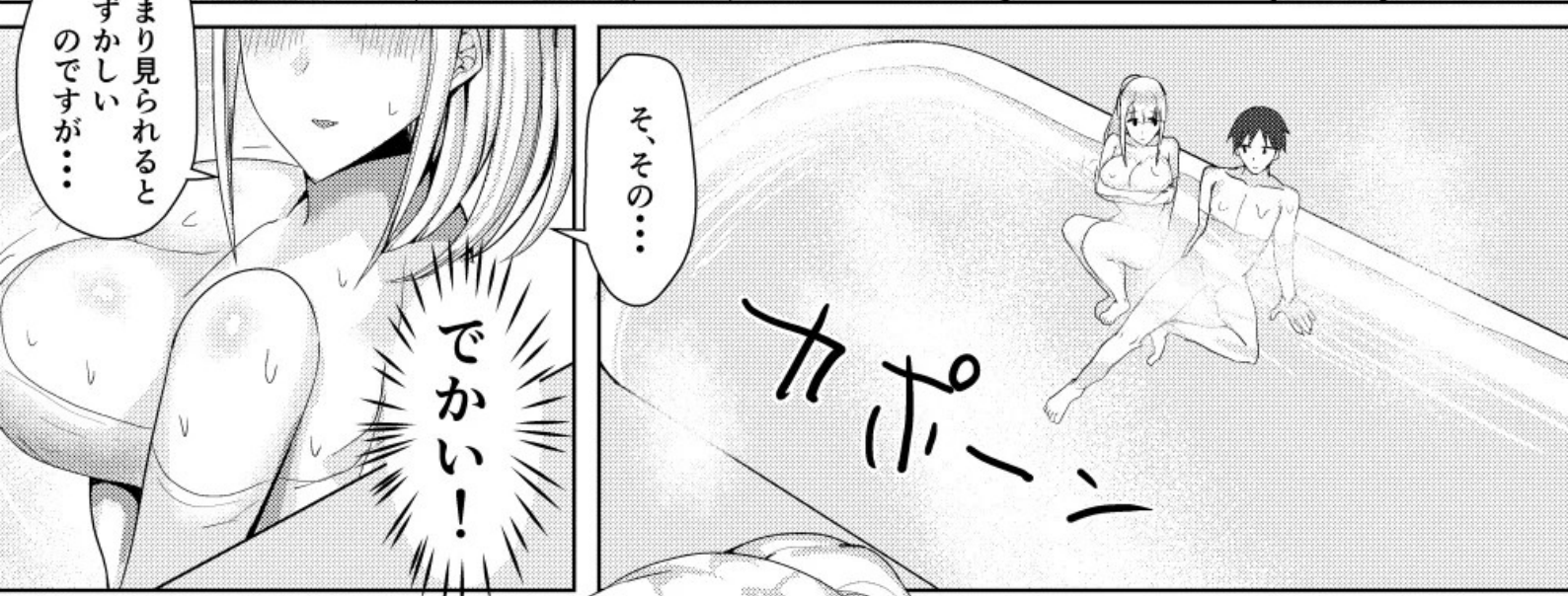


そっか

じゃあ僕がいろいろ
教えてあげるよ

はい

よろしくお願いしますね





レイナの誘惑を
断って次の攻略に
乗り出したんだ…

たっぷりいい思いさせて
もらわないと…



勇者様…？

ゆ、

きやつ！？

なっ

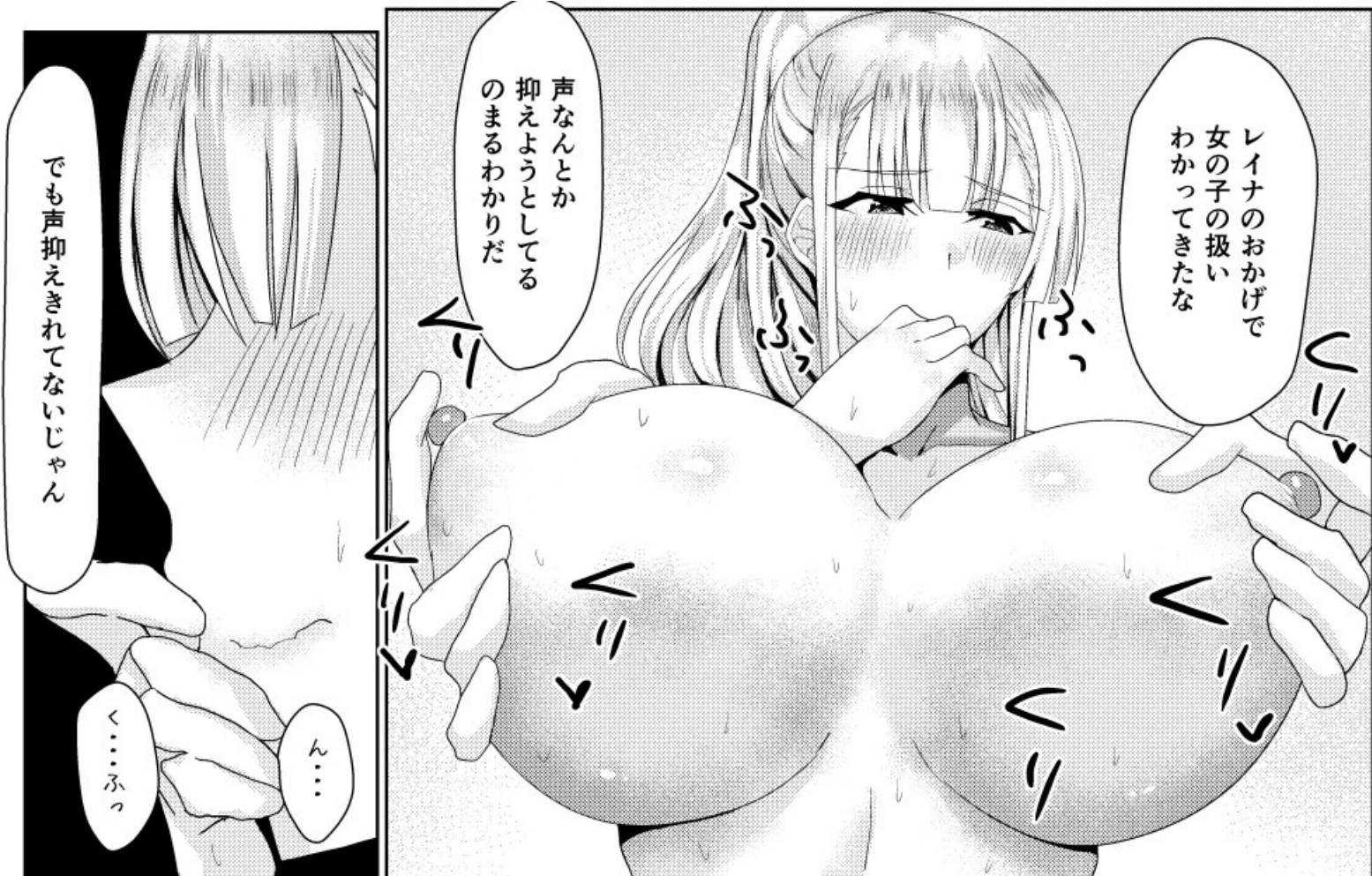


夫婦なんだから
これくらいスキンシップ

そ…
そうなのですか



もみ







姫様…

後ろ向いて
おしりこっち向けて

はい…

えっちなことなんて
全然知らなそうなのに

本能でしゃぶってるんだ

なにか
なさるんですか？

僕も姫様のこと

ごしごしして
あげたいんだ

えっ…えっ

姫様っ！

はいっ！



勇者さ

まふ

す



姫様の膣内…
ひだがうねっていて

すごいヌルヌルだ…

す



ゆうしやさまっ

これ
あたまがぼーっ
として

勇者様のことしか
かんがえられ
ないんですっ

だめですっ
こんな！

おかしく
なっちゃいますっ

姫様がここ
濡らしてるから

いつまで
たっても

掃除が
終わらないん
じゃないか！

はやくそのぬるぬる出すの
止めてくれよ

ちがうんですっ

とめたいのに
あふれてきちゃうんですっ



ゆうしやさまっ

一回休ませてっ

我慢してっ

あと少しだからっ

ごめんっ

これ続けたら

こわれちゃいますっ

なにかキチャいますっ

あっあっあっ

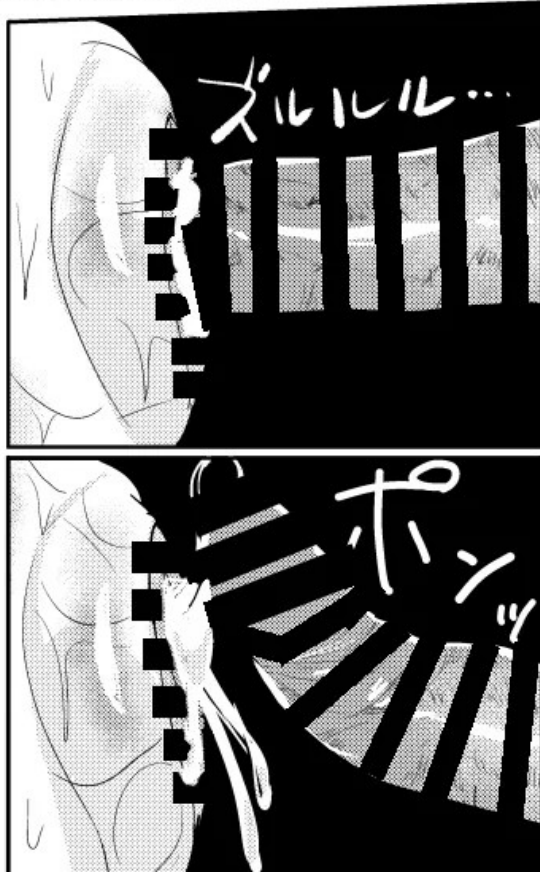
ゴゴ

ゴゴ

ゴゴ

ゴゴ

パッパッ





一国のお姫様に

出しちゃ
いけないような声
出させてしまった...



びくん

フッ

フッ

ガッ

びくん

どう考えても
やりすぎた...



まだ...

お掃除おわって
ないですよね...♡



ギュ

どちらへ行かれるんですか？



まあいいや

体あらお





攻略に影響したら...

でももし嫌われて



ああ、キスしてえ



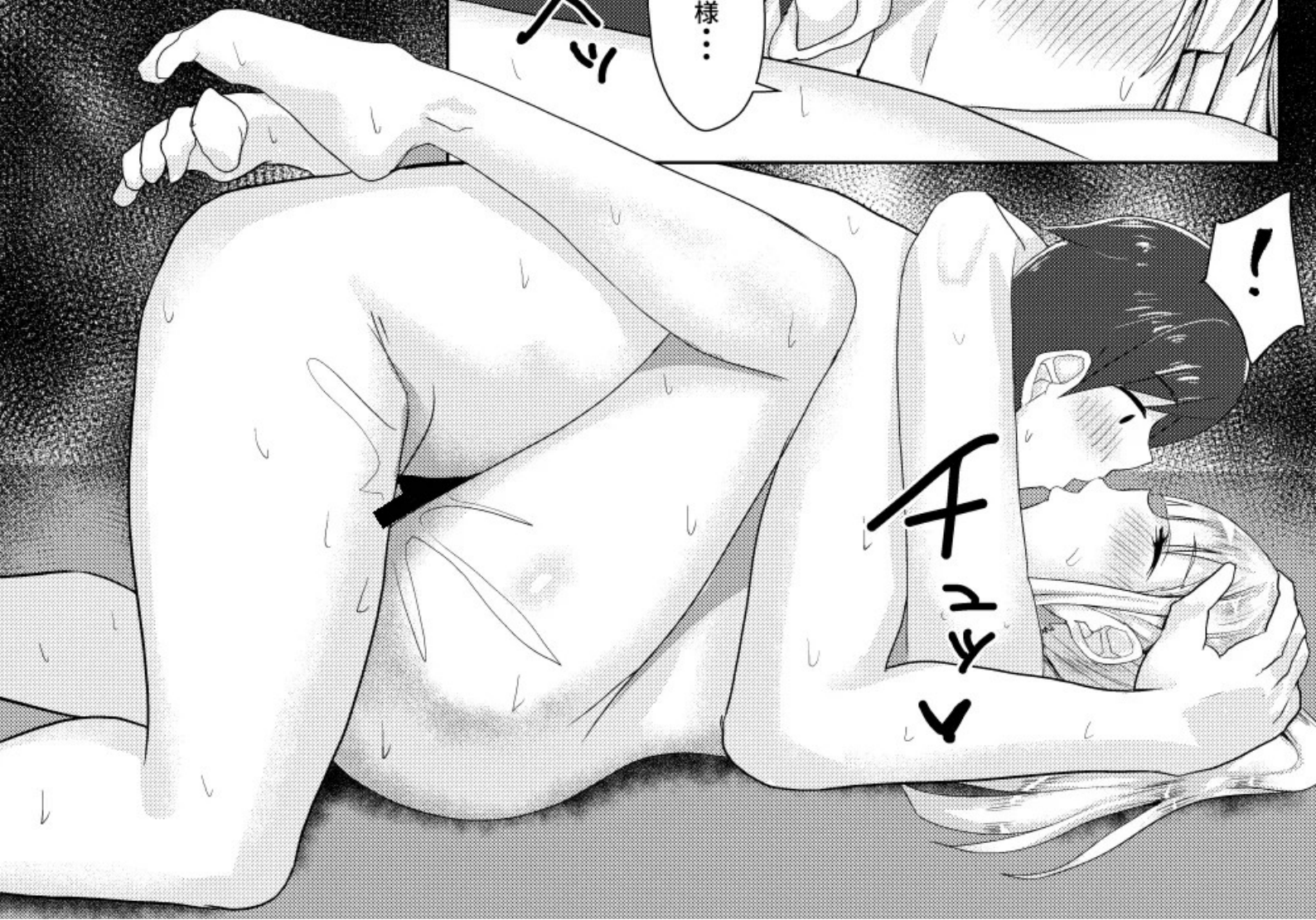
やわらかそうな唇...

キスしたら
どんな味だろう



勇者様...

スッ



!





勇者様と口の中の
唾液を交換しながら



お股の中を
ほじくられるのが



くせになっちゃいます



姫様の唇…
いやらしすぎる

これに興奮しない男
なんているのか…?

こんなの興奮するな
って方が無理だ!



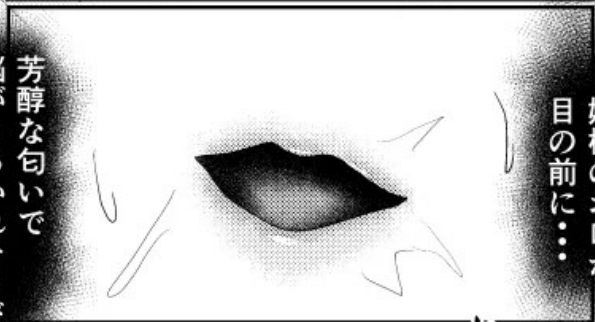
また私の膣内で

びゅーって
してください



ちゅーしながら

できますか…?



姫様のお口が
目の前に…

芳醇な匂いで
脳がとろかれそうだ



まさか
私の吐息で…

こんなに
…



ゆうしやさまっ

急にはげしっ



勇者様のためです
頑張りますね

…
恥ずかしいですが

え…

お願い！

顔舐めて
ほしいんだけど

姫様



姫様の濃い匂いが



鼻腔の奥まで広がって
脳みそが痺れるほど
きもちいいっ

ニク

こんなかわいい娘に

顔なんて
舐めさせちゃってる...

最高か...

勇者様

やっぱり私

キスしながら
ごしごしお掃除が好きです...♥

ちゅー

もー

はあ

はあ







ゆうしやさま...

おそうじ...

くぐろつなまでした▼

はあ

はあ

はあ

こうして二人目のヒロイン

メアリ姫を攻略した



なぜかこうなった

タカシさまっ♡

私を選んでくださいますよねっ♡

私のほうがタカシ様の
気持ちよくなるコト
いっぱい知ってるんですからっ♡

身体の相性がいいほうが一番らしい

聞き捨てなりませんね…
ではこれは知っていましたか？

なっ！



メアリ姫とタカシ様…

すごいはげしいえっち…

お互いすごく
気持ちよさそう

私もタカシ様との仲を
疑うわけじゃ
ないけど…

負けたくない…

もっとタカシ様に
悦んでいただくため

レイナ…んっ

おにい

タカシ様…

出さなくては

勇気を

私も…んっ♡



盗られたくないっ

ぬちやあ

れろっ



いかがでしょう...

お嫌ですか...?



こんな...

恥ずかしいなんて...

れろ
ぬち
ぬち

ちゅ
ちゅ
ちゅ

ズ
ズ
ズ
ズ

でもメアリ姫にタカシ様を



かわいすぎる!

いつもクールなレイナが
恥じらってるのが

なにより

レイナの匂いが嗅覚を通して
ちんこを刺激してくる...!!



はー

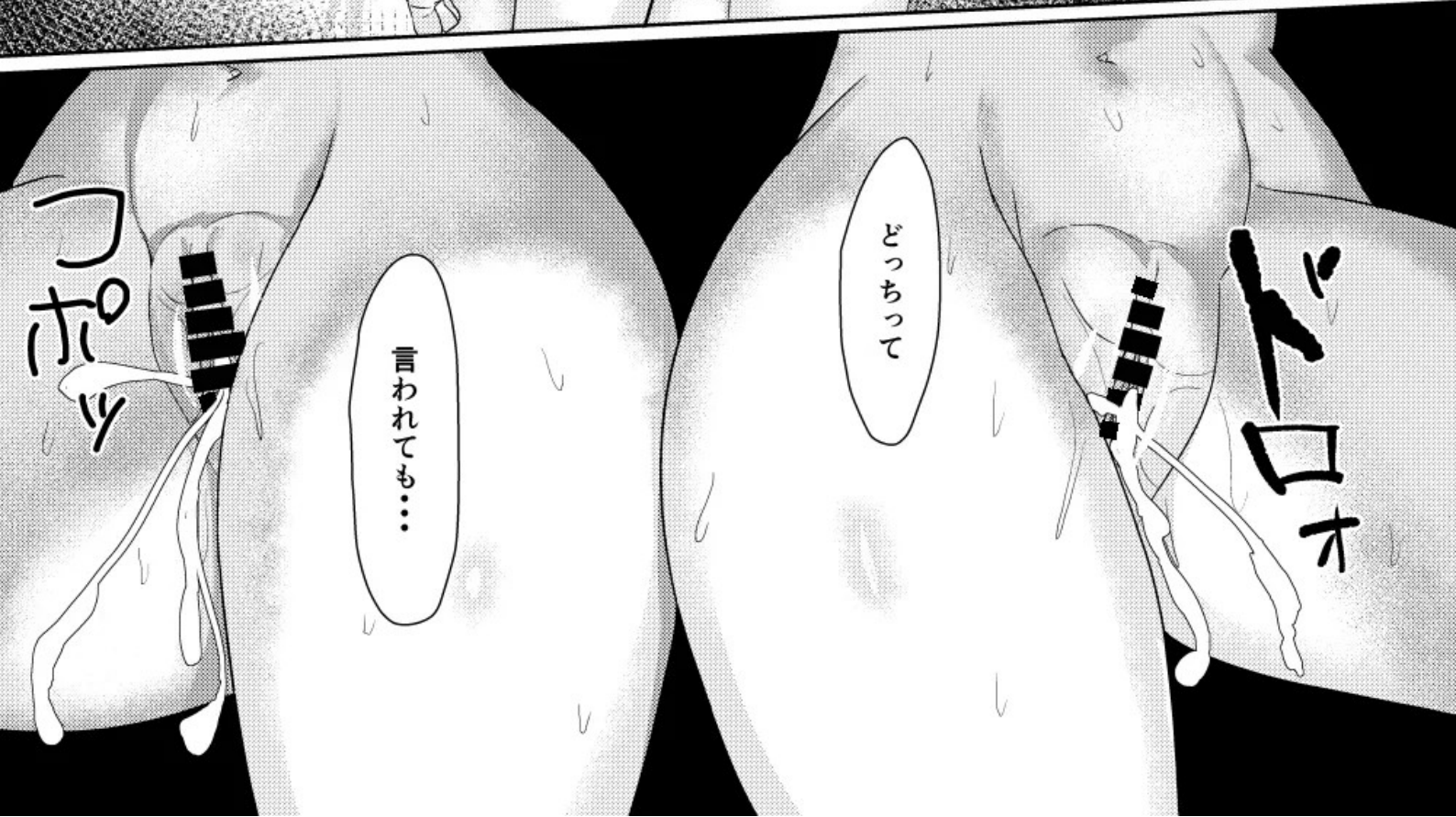




タカシ様…

どちらのほうが

お好みでしたか…？



どっちって

言われても…

ゴッ

ドロ



王宮の地下牢獄

ここに最後のヒロインが

投獄されているらしい



…貴様

勇者か…



彼女が三人目のヒロイン・メイヘム

魔王軍幹部にして

軍司令官として
魔物を使役していた
彼女によって

破壊された街は
数知れず

その一方
魔性の美貌で

魔物だけでなく

一部の人間からも
憧れのまなざしを
受けていた

最終決戦にて
勇者パーティに
倒され、今に至る

おそらくだが
ルート分岐に

魔王に与するという
ルートがあつて

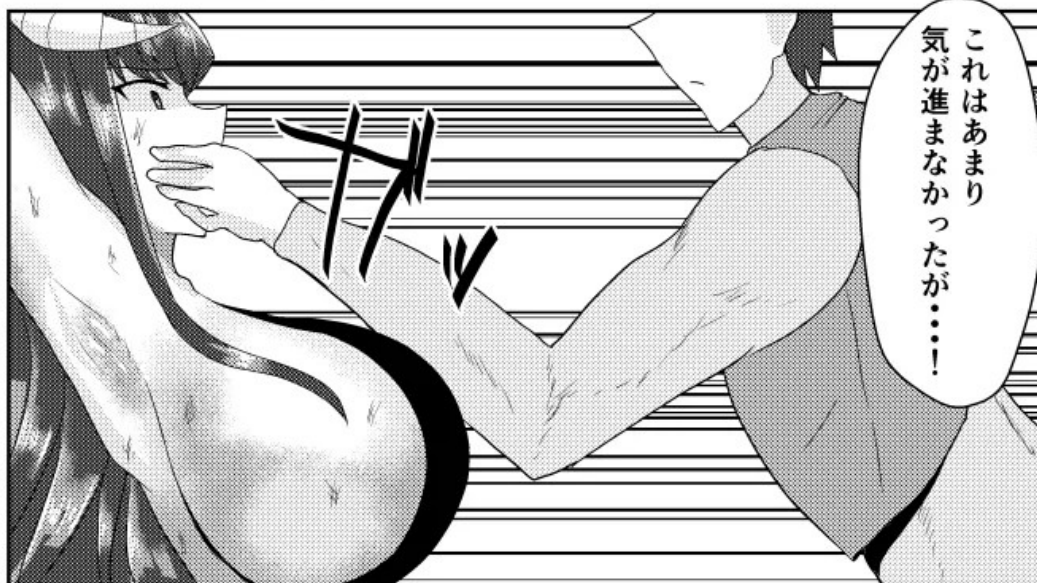
彼女は場合の
ヒロインとなるのだろう



私を慰み者にでも
しにきたか？

やってみろ…
残った魔力で
もろとも吹き飛ばしてやる

こっわ



これはあまり
気が進まなかったが…！



やっぱそうなるか

しかたない



淫魔の体液

性欲の涸れはてた
老人ですら三日三晩
腰を振り続けるほどの
効果だ



貴様…

何を飲ませた…

アッホ
アッホ





この私が...!

こんな人間
ときのを...

フッ

フッ

ハッ

ハッ



薬のせいで体が勝手に
しゃぶりついてしまう...

効力が強すぎて

抗えないッ



これが魔族のフエラ…！

唾液が人間のものより
ねっとりしていて
明らかに熱をもっている



長い舌が的確に

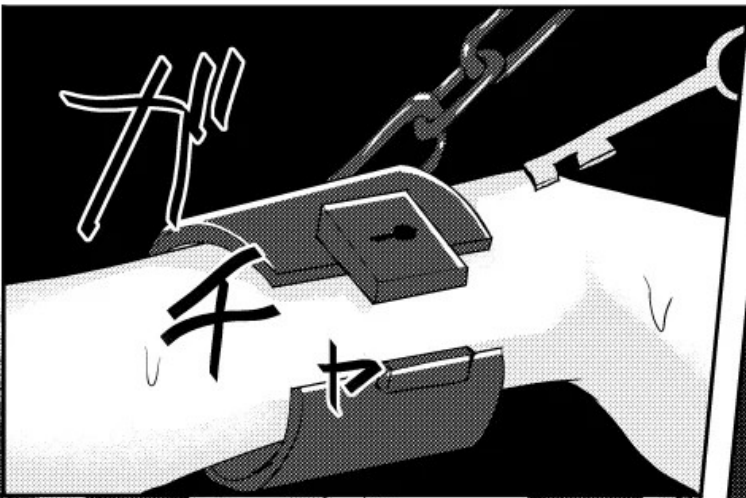
気持ちいいとこに
巻き付いて
搾り取ってくる！

のどまんこの

締め付けっ！

うっでる！

そして極めつけの



!!

こ、これがオスとの交尾か…

人間ごとき相手に
あやうくイキかけた…

こいつは魔族だから
手加減の必要がない!

人間相手だから
手加減していたが…

力いっぱい腰を
打ち付けても…

バチバチバチバチ

壊れたりしないよな!

[illegible]

!!

こ、これがオスとの交尾か…

人間ごとき相手に
あやうくイキかけた…

こいつは魔族だから
手加減の必要がない!

人間相手だから
手加減していたが…

力いっぱい腰を
打ち付けても…

バチバチバチバチ

壊れたりしないよな!

!!

こ、これがオスとの交尾か…

人間ごとき相手に
あやうくイキかけた…

こいつは魔族だから
手加減の必要がない!

人間相手だから
手加減していたが…

力いっぱい腰を
打ち付けても…

バチバチバチバチ

壊れたりしないよな!

!!

こ、これがオスとの交尾か…

人間ごとき相手に
あやうくイキかけた…

こいつは魔族だから
手加減の必要がない!

人間相手だから
手加減していたが…

力いっぱい腰を
打ち付けても…

バチバチバチバチ

壊れたりしないよな!

!!

こ、これがオスとの交尾か…

人間ごとき相手に
あやうくイキかけた…

こいつは魔族だから
手加減の必要がない!

人間相手だから
手加減していたが…

力いっぱい腰を
打ち付けても…

バチバチバチバチ

壊れたりしないよな!

!!

こ、これがオスとの交尾か…

人間ごとき相手に
あやうくイキかけた…

こいつは魔族だから
手加減の必要がない!

人間相手だから
手加減していたが…

力いっぱい腰を
打ち付けても…

バチバチバチバチ

壊れたりしないよな!

!!

こ、これがオスとの交尾か…

人間ごとき相手に
あやうくイキかけた…

こいつは魔族だから
手加減の必要がない!

人間相手だから
手加減していたが…

力いっぱい腰を
打ち付けても…

バチバチバチバチ

壊れたりしないよな!

!!

こ、これがオスとの交尾か…

人間ごとき相手に
あやうくイキかけた…

こいつは魔族だから
手加減の必要がない!

人間相手だから
手加減していたが…

力いっぱい腰を
打ち付けても…

バチバチバチバチ

壊れたりしないよな!



貴様つ

誰がくちづけを許した！

魔族の口ふりっぷりで

うまっ



勇者め：・遠慮なしに
腰を打ち付けおって

以前刃を交えたときでも
ここまで力を入
れていなかっただろ

戦闘よりも

本気ということか

魔族たる私が

快樂に圧されているつ



おい、やめろ

そこは……っ！



よっ！

魔王軍幹部が
つとまるのか

そんなに乳首弱くて……



えっ!!

もしかして乳首弱いのか!!

びく びく

だめだ…
完全にこの男のペースに
なっちゃっている…

この私が

こんな人間のオスを
求めてしまっている…っ！

はぁん

あっ

あっ

もうおさえきれないっ

メイヘムっ
中に出すぞっ
まんこしっかりしろっ！

ブルブル！！





お前の名前は
なんというのだっ

たかし…

そうかたかしというのかっ
たかし♡もっと思いきり
腰を打ち付けてくれ♡♡



なあたかし

キスしながら
突いてもらえるか？





この体勢のほうが

もっと力を入れて
ずぼずぼできるだろう…？

いんち

わんわん…

一定のリズムでくる
身に余るほどの強い快感

主人より
先にイクとは
なんて性奴隷だ！

いくら私が魔族で
頑丈な身体を持ってるとはいえ

こんなものを受け続けたら
気が狂ってしまう……

お仕置が必要だな！

これほどまでに
力強きたきつけられたら
壊れてしまうっ



こいつ調子に乗って

私の中に本気で子種を
植え付ける気だな...

もみ、

それだけは.....!



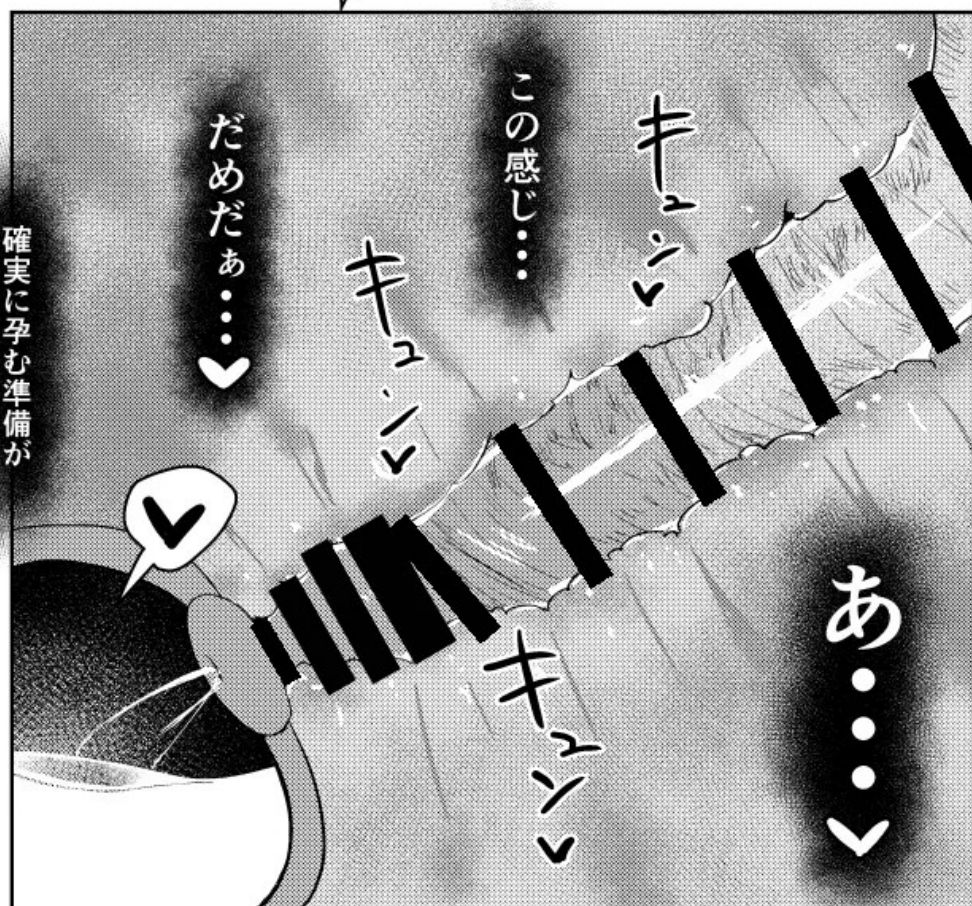
絶対に受精など...



それだけは
させてなるものか



整ってしまったてゐる.....!



あ.....

この感じ.....

だめだあ.....

確実に孕む準備が





このあと三日間地下牢獄に
こもってセックスに更けた

ふたりとも…

えー

こちら新しく仲間
になった魔族の
メイヘムさんです

仲間ではなく
性奴隷だ
よろしく

なんて美しい…

バツ

お前たちも
たかしの性奴隷か？

はり妻ですけど！

そうか、それなら
昼の時間はたかしを
好きにするがよい

そのかわり…
夜の時間は
性奴隷の私がらうぞ

なっ！



勝手などではない、役割分担だ
性奴隷の仕事を私から奪う気か？

そんな勝手な！



!?

もちろん
昼間の交尾は禁止だぞ



私も性奴隷になります…!!

えー……………!!

それなら…



それはそれで

悪くない…ありだな



でもレイナが僕の
性奴隷に…



私とメイヘムさん

どちらを性奴隷に
選びますか…？



あ、まさか
この流れは…

やっぱり…



こうなるのか…



勇者様…

キス

美女三人に
囲まれて

ちゅぽ
こんなぜいたく

ちゅぽ

ちゅぽ

ちゅぽ

ちゅぽ

許されるのか…?

現実じゃありえない
夢みたいなことだけど

ファンタジー世界だし
こういうこともあるか…



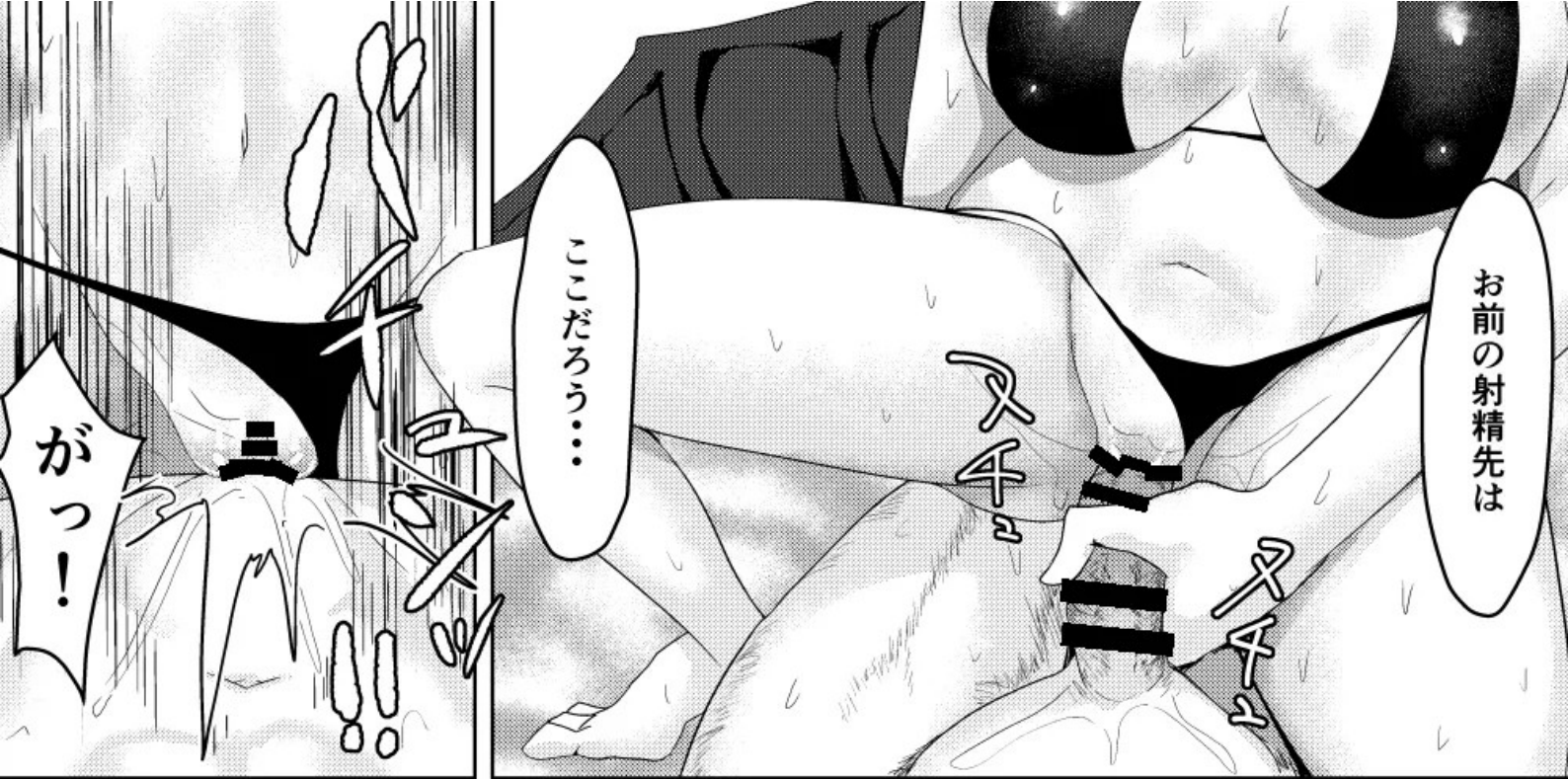
やばい…

もうイキそ

だめだぞ

ガッ

出すときは
ちゃんと





タカシ様、いかがですか？

よろこんで
いただけたら
うれしいのです



たかしっ
搾り取ってやるからな

我慢しないでいいぞ

なんて締め付けだっ

油断してた

4 P が

こんなに気持ちいいなんてっ

我慢できるわけない！







はあんっ
ゆうしやさまのっ

ズン

お二人とも
喧嘩はよしてください

それより
性奴隷なら

勇者様に
ご奉仕するのが
役割でしょう？

確かに



それでは…

私たちの
ご奉仕

ズン

ひさしぶりでずっと
うずうずしてたんですから！



膣肉が
柔らかく包み込んで
射精を促してくる…！



タカシ様あ
私にも早くほしいです…

最後じゃな
私の勝ちか？

なっ！

たっぷり
お味わいください♡

一人ひとりのキスの感触

へらの肌ざわり

はぁ

唾液の甘さ

吐息の香気

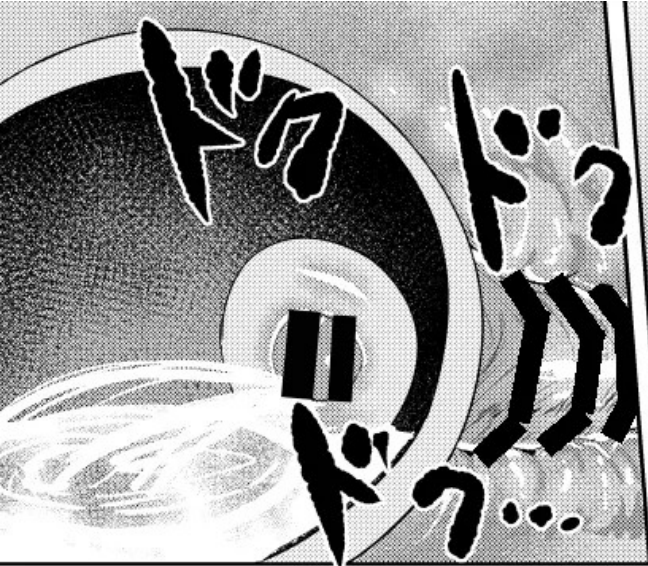


それらを個別に体験して
知り尽くしているはずなのに

三人の混ざりあい
相互作用をおこして
三倍どころじゃなく
興奮を催している

射精欲が

止まらない





やはりすごい...

レイナとの相性は

ずっと...待ってたんですから

一番最後になっちゃってごめん



いやですからね...

いっぱい
愛してくれないと



レイナにいれると
またそそり立ってしまう

さっきまで二人に
あれだけ出したのに



我慢できますか…？

…うん



成長され
ましたね…

こ立派です♡



ちゅ♡



思い出しませんか

こうしていると



はじめてタカシ様と
交わったあの時間…

はあ…

はあ…

タカシ様はすぐに
達してしまわれましたね

あっあれは！
初めてだったから！

今はどうですか？

ふふふ

ふふふ



いつもこんなに
激しいのか

妬けてしまうな

ええ...

やはり...
レイナさんには
敵わないのですね

ちやほ

ぱん



絶対に敵わない...



見ていれば
わかってしまいます

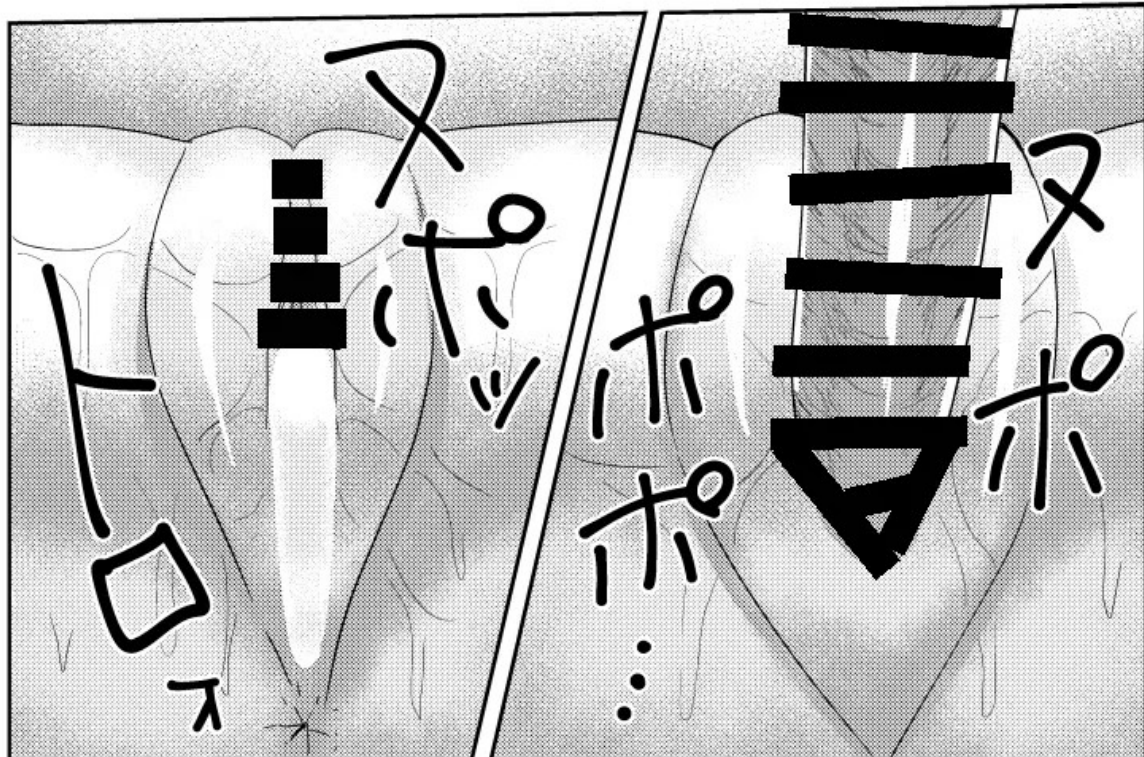
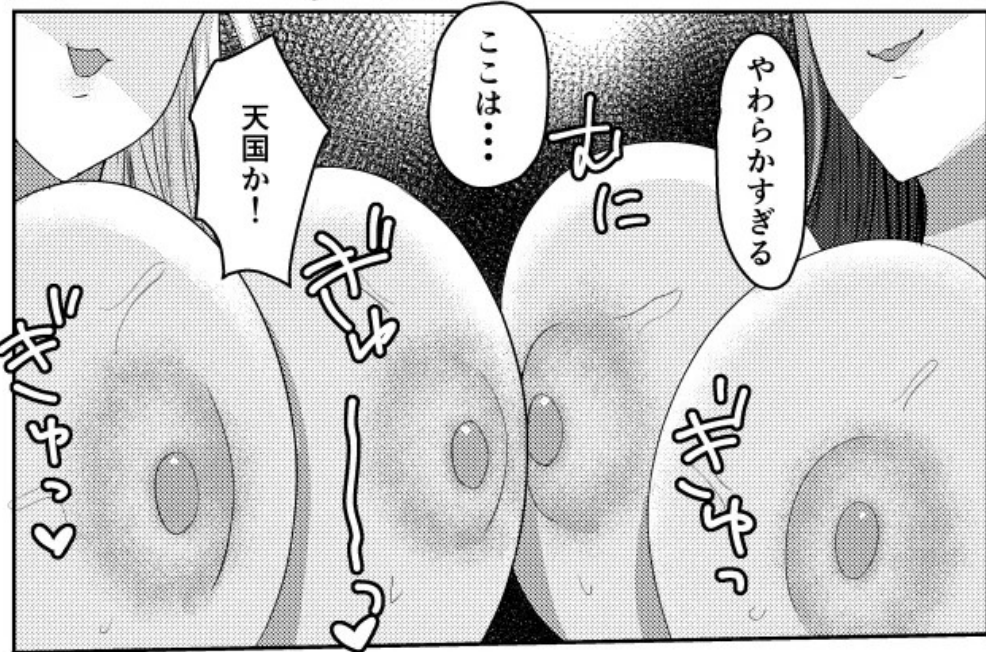
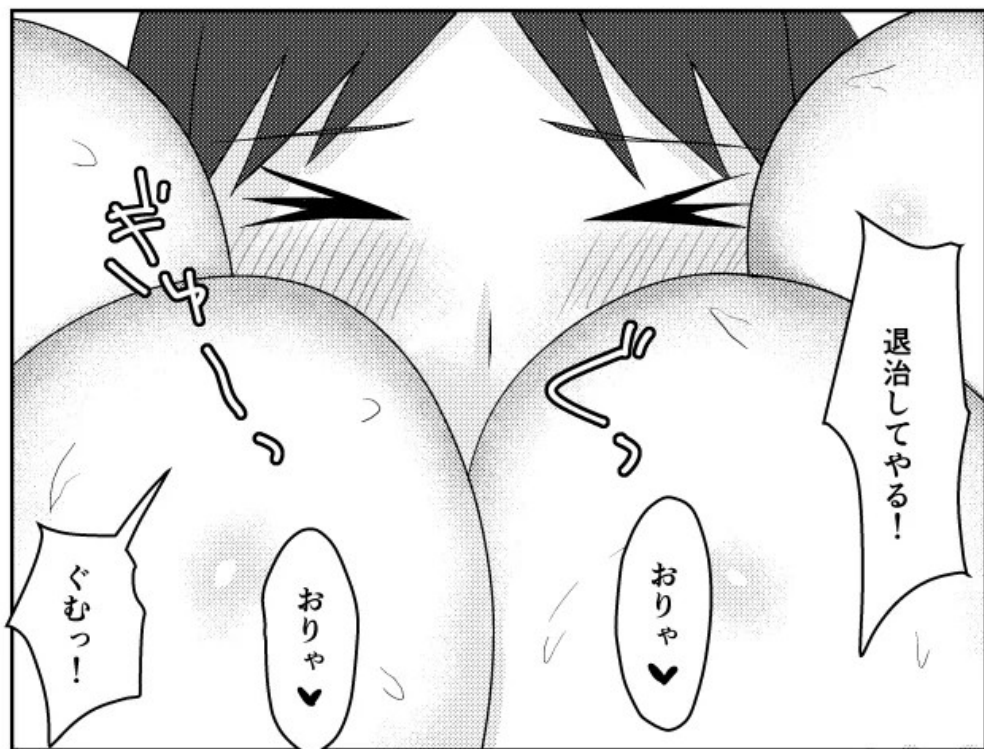


戦場で生死の境を共にし
背中を預けあった絆が

どれほど深いか

え







強烈な快楽で
薄れゆく意識の中

さっき数えきれないほど
出したにもかかわらず

今日一番の特濃を

レイナの膣内に
进らせながら

僕はそのアナウンスを聞き、
ゲームの終了を知った

条件の達成を
確認しました

これより10分後、
現実への帰還を
開始します

条件を達成した僕は
彼女たちとの別れを
惜しむ暇もなく
現実へ帰還した

あれから今日で
そろそろ一年が経つ

向こうの世界は
今頃どうなっ
ているだろう

レイナ達の姿が
浮かんでくる

目を閉じれば今でも

毎日ゲームを開けども
あの項目は出てこない

はじめから
つづきから
設定
終了する

一年前のあの時のように
不意に

あの項目は
また現れたのであった

考え始めたそんなときに

あの世界のこと
に
未練を持つのはやめようかと

たまのほうさ

RPGの世界から出るにはハーレムつくらないといけないらしい

aisatsuohayou3@gmail.com